

水辺のふるさと かつしか 春号

2019.12-2

自然環境レポーター(通)信



写真のタイトル：すずめさん

撮影場所：東立石

写真提供：高橋 雅子さん

水辺のふるさとかつしか 春号

目次

- 1 55種の動植物調査結果P 1
- 2 春号イチオシの生きもの!.....P 2
- 3 自由レポートP 3~20
- 4 季節の写真集P 21~24
- 5 魚からの便りP 25~28
- 6 環境課からのお知らせP 29

編集担当のひとこと



こんにちは。環境課自然環境係の齋藤です。

今年度も残りわずかとなりました。暖かくなるにつれてだんだんと花粉が猛威を振るってきました。何年か前からか目や鼻がかゆくなりつつも、花粉症ではないと自己暗示をかけてきましたが、さすがに無謀だと感じ受け入れることにしました。最近マスクが手放せません。春の晴れた日が好きで気分が清々しくなるものの、スギやブタクサが嬉々として花粉を振り撒いていると思うと冷や汗が出てきそうです・・・。

今回の水辺のふるさとですが、記録自体が冬であるため55種の調査報告が若干少なめとなっています。季節的に厳しいものですが、自由レポートや季節の写真集などで日々の移り変わりをたくさん教えていただきました。これから暖かくなるにつれてレポートが増えてくれたらと思います。6月の環境・緑化フェア、7月の研修会（予定）なども控えておりますので、来年度もよろしくお願いいたします。

齋藤

55種の動植物 調査結果(12月~2月)

【調査区1】 計3種

〈鳥類〉コサギ・カワセミ
〈昆虫〉
〈植物〉ススキ

【調査区2】 計8種

〈鳥類〉コガモ・ツグミ・コサギ・シジュウカラ
〈昆虫〉
〈植物〉シロツメクサ・オオバコ・ジュズダマ・ススキ

【調査区3】 計9種

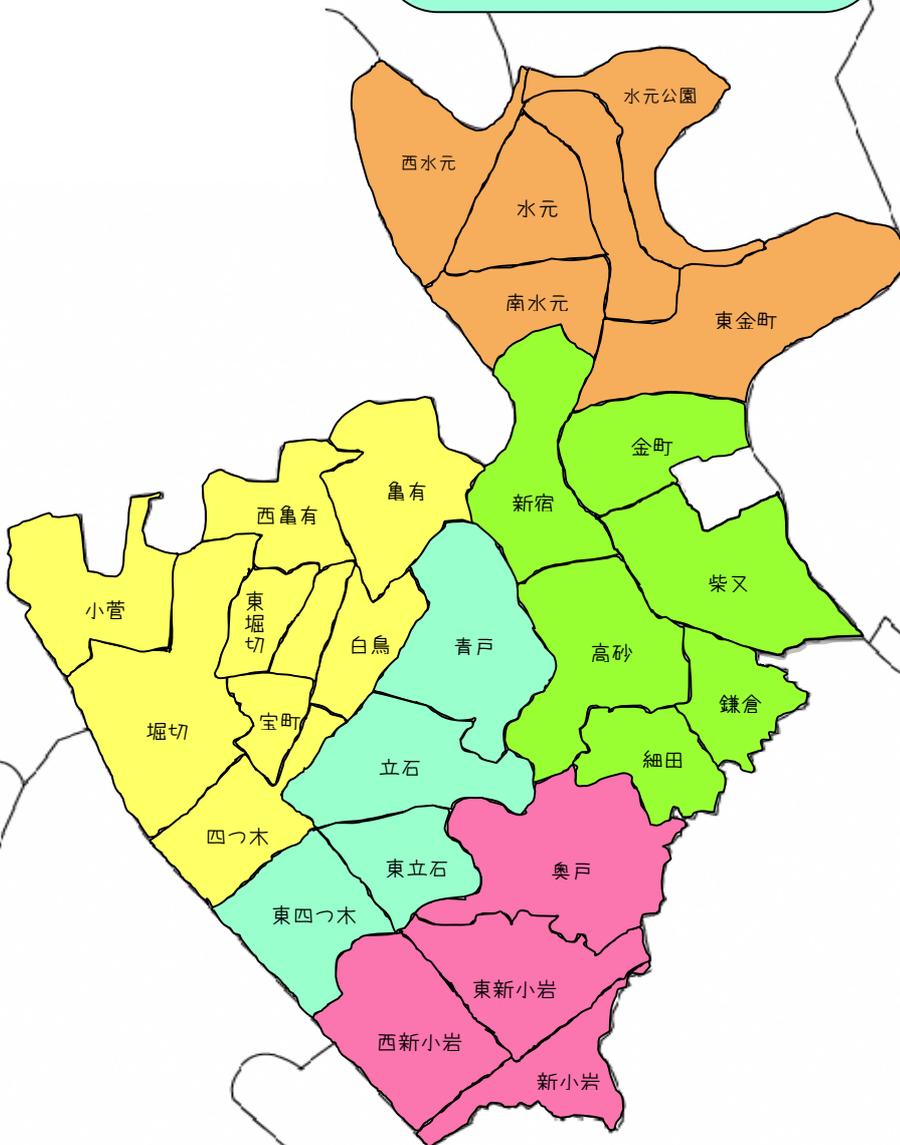
〈鳥類〉ツグミ・コサギ・シジュウカラ
〈昆虫〉アカメガシワ・スズメノエンドウ・イモカタバミ
〈植物〉スギナ・イモカタバミ
〈爬虫類〉ミシシippアカミミガメ

【調査区4】 計2種

〈鳥類〉ツグミ
〈昆虫〉
〈植物〉スギナ
〈クモ類〉

【調査区5】 計8種

〈鳥類〉コガモ・ツグミ・ウグイス・コサギ・カワセミ・コゲラ・シジュウカラ
〈昆虫〉
〈植物〉
〈クモ類〉ジョロウグモ



赤字は外来種だよ

レポートが見つけた

春号イナオシの生きものの！

オオタカ

オオタカは、タカ目タカ科に属する中型の種である。日本における鷹類の代表的な種である。古今、タカといえば、オオタカを指すことが多い。

雄の全長約50cm、雌の全長約60cm、翼開長約100-130cm。日本の亜種は白い眉斑と黒い眼帯が特徴である。北海道ではユーラシアの亜種が往来するので別種とされてきたが、現在は本州の亜種と同じものとして扱われている。

Wikipedia より引用



上記の写真は、12/1 に石鍋壽一さんが荒川河川敷で撮影されたものです。オオタカが撮影されています。越冬目的でたまたま葛飾に寄ったのでしょうか・・・。

| | | | | | |
|----|-------|----|-----|-----|---|
| 氏名 | 鷺田 秀和 | 町名 | 新小岩 | 調査区 | 1 |
|----|-------|----|-----|-----|---|

タイトル『越冬ベッド』

「荒川河川敷。

この時期、鳥以外、目ぼしい生き物との出会いはナカナカありません。痕跡でもいいので、何かないかなァと、ヨシ原を歩きます。

ふと見ると、あるものが私の観察レーダー(^O^)に引っかかりました。沼沿いに連なるヨシのうち、たったひとつだけ、穂先が妙に膨らんでいるのです。

はじめは、昆虫が冬を乗り切るためにつくった越冬カプセルのたぐいかと思いましたが、どうも違います。近づいてたぐり寄せてみると、鳥の巣のように丸まっています。

広げると、写真のとおり。



ヨシの穂を、白い毛(のようなもの)で接着剤のように使って固めています。

厚い玉状になっているので、防寒としてはとても機能的で、この中に入っていたらさぞ暖かそうです。

この玉、よくよく気をつけて探してみると、ヨシ原のあちこちにありました。

後で玉の正体を調べてみましたが、ドンピシャの解答は見つかりませんでした。

かろうじて、カヤネズミの巣がこれに近いものと分かりました。

しかし、こんな不安定で高い場所に作るのかどうか…(;^ ^A)」

| | | | | | |
|----|-------|----|-----|-----|---|
| 氏名 | 鷺田 秀和 | 町名 | 新小岩 | 調査区 | 1 |
|----|-------|----|-----|-----|---|

タイトル『子孫を残せる環境』

「冬の風物詩(´ω`);、カマキリの卵囊です。

カマキリの卵は草木の高い位置に産みつけられているイメージですが、これは自分のふくらはぎ位の高さの場所にいくつも見られました。



卵囊の大きさや形からして、コカマキリではないかと推察します。形状は、一見、木のつぼみや枝の膨らみ程度にしか見えません。これも、外的から子孫を守るための知恵なのでしょうか。

いろいろ歩きまわって、定番のオオカマキリのそれも見つけました。こちらは目に止まりやすいですね。

はてさて…

昨年秋に、葛飾あらかわ水辺公園でこんなものを見つけました。

定期的に行政が一带の草木を刈り取るのですが、その過程でこうなってしまったようです。



公園利用者のために、というのが除草の目的かと思いますが、ここは生き物たちのふるさとでもあり、つい考えてしまいます。」

私は猪生まれである。もしかしたら次のこの年には元気であるかわからない…。厳しい寒さの中で正月は明けた。数年来地球温暖化が叫ばれているが、どうしたことか、近頃は気温ばかりでなく国際的にも国内でも冷えた話題であふれている。これらは季節が進んで暖かくなってもそう簡単には緩むことはないだろう……。

今年は昨年末から雨がさっぱり降らない。今までは夏の問題だと思われていた水不足が報道されている。水源地は干上がっていてカラカラだという。それゆえ加湿に気を遣う。15日が過ぎて神棚から下ろしたお供え餅を細かく切ると瞬く間に乾燥し、生椎茸は乾燥椎茸になった。鉢植えの花々も乾燥気味で水遣りは欠かせない、寒さと乾燥でチリチリしている。地植えの木々にも水を与えている。彼等にも受難の年であるから……。

去年の彼岸頃に植えたチューリップの球根が小さな芽を出した。満開の桜と共に鮮やかに咲く可憐なこの花を最初に画用紙に描いたのは一年生になった時だった。花が笑っているようで描きやすく、印象的だった。寒い中にも暦は進む。まもなく節分、翌日は立春である。無難で好い猪年でありますように心から願っています。

暖冬と言われ続けながら、今年は寒い日が続いている。

如月は更に着る月である。去年の夏は鰻上りの暑さが連日だった。その時は冬の方が良かったと思ったけれど、今は夏の日々が慕わしい。このように勝手なことを繰り返しながら永い年月を過ごして今日まで来てしまった。

そうこうしているうちに日がだんだん伸びて柔らかくなっている。

空を見上げて弥生の空は見渡す限り・桜、桜。花盛り（歌の文句）の光景を思い浮かべている。それらも、もうすぐである。

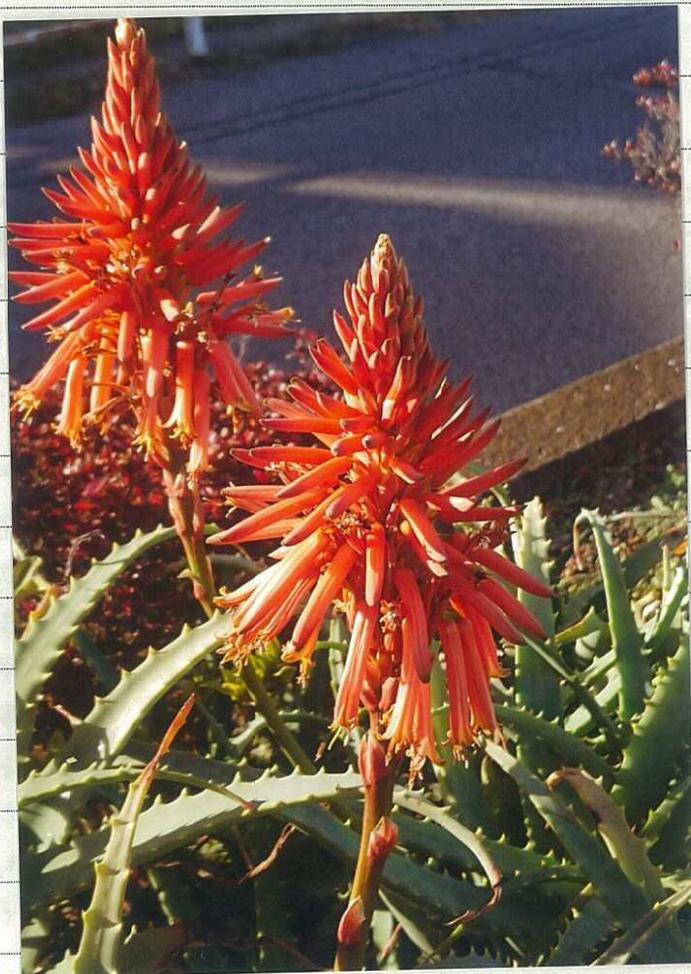
街の中に白梅、紅梅と咲いているのに出会う。一本の木で紅白に咲き分けている。その不思議な現象に見惚れる。梅と桃、桜どれも美しいが比べると桜の華やかさに軍配が上がると私は思う。好みの問題もあるでしょう……。典雅な梅や、可愛い姿の桃は味わいあがる。けれども艶やかで凄艶な桜の美しさに酔いしれるひとときは何にも勝る。今年も健康で何とか観られそう。

サンシュは春に先駆けて咲く花です。黄色の鶏の鶏冠のようでユニークな姿ですがかわいらしい。サンシュを五木の子守歌の中で歌われているのを聞いた時、どんな花かと興味をもっていた。そうしてこの花を現実に見た時は想像と違った。更に可愛かった。この花を見ると寒い日ももう少しの辛抱と自身に呟くのです。

もう水も冷たくなって、毎日の水遣いもそれほど苦にならなくなっている。

| | | | | | |
|----|-----------|----|--------|-----|---|
| 氏名 | 冬の みち草 | 町名 | 東四つ木-1 | 調査区 | 2 |
|----|-----------|----|--------|-----|---|

中川土手(上平井橋～平和橋)の植え込みも
冬枯れています。その中で、キダチアロエは、群立して
元気いっぱい赤い花を咲かせて、離れた所からでも
目を引きます。



木立アロエとも
書くようです

2018.12.29

| | | | | | |
|----|-----------|----|------------|-----|---|
| 氏名 | 冬の みろ草 | 町名 | 西新小岩 -5 | 調査区 | 1 |
|----|-----------|----|------------|-----|---|

北風の吹きさらさぶ中、身の丈を低くして、地面に
すれすれの所に、パッと黄色の花が 午後の陽を
受けて 開いていました。小待宵草(コマツヨイグサ)です。
明るく、かわいく、けれど、(たまたかに、冬の冷たい日でも、
生きている花だと思いました。

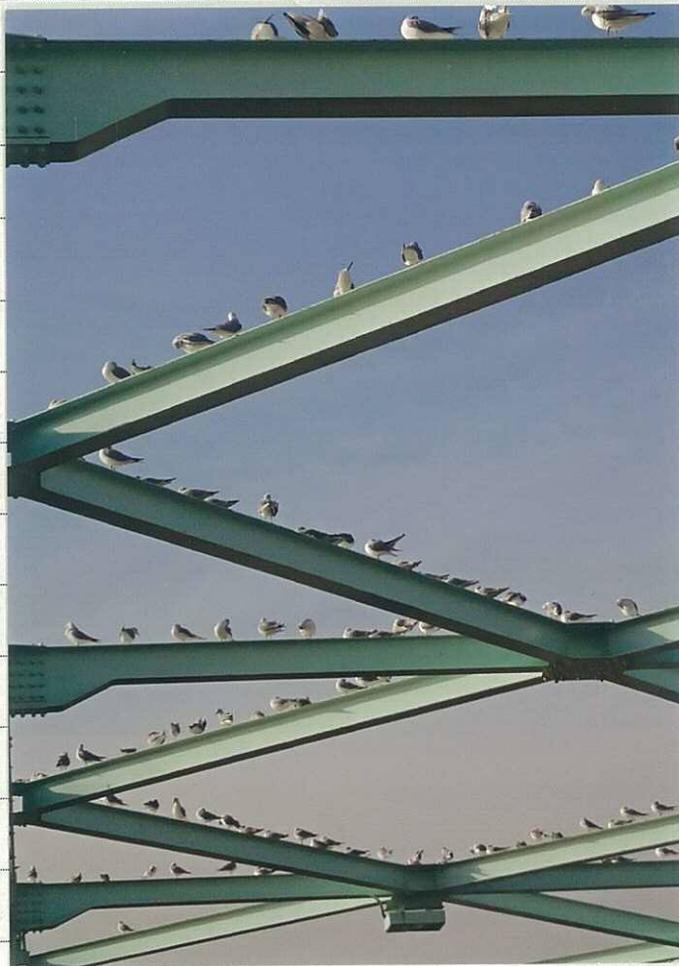


2018. 12. 29

| | | | | | |
|----|-----------|----|------|-----|---|
| 氏名 | 冬の みち草 | 町名 | 奥戸-2 | 調査区 | 1 |
|----|-----------|----|------|-----|---|

夕暮前のひととき、本奥戸橋のアーチの上に、
がらりと並んだユリカモメたちです。

日なたぼっこやひと休みや羽繕いや会議中や
皆それぞれなのに、もうすぐいっせいに飛びたつて、
寝ぐらへ向うのでしょうか？



2019.2.7

2018年12月29日

お得かつ環境に良いと思って買ったプラスチック

環境について調べていくと、気持ちが落ち込むことが多いので、楽しくできるお得で環境にいい！と個人的に思ったプラスチック製品を発表したいと思います。

※個人的視点なので、多少調べましたがこの素材って実は環境によくないよ等あるかもしれません。

1. ナイロンのジャケット

長年擦り切れず長持ちしているジャケットがあり調べたらナイロンでした。別で買った水を浸透させず火にも強い素材のジャケットは擦れてしまったのですが、ナイロンは全く擦れませんでした。ナイロン製造の一部は有害なものも使ったりすることがあるようなのですが（ナイロン「ウィキペディア (wikipedia) :フリー百科事典」更新日時 2018年12月23日 19:14）（たくさんある作り方の一部に大気汚染防止法の優先取組み物質が記載されている）、大変長持ちするというので買いました。

2. スーパーで一番安かった四角いペットボトルの水（水筒がわり）

手ぶらで歩けるペットボトルを腰に引っ掛けて持ち運ぶフックを持っているので買いました。中国が日本のプラスチックごみを受け入れなくなったので捨てたプラスチックが行き場を失い積みあがっているそうです。なので今はペットボトルを捨てるべきでないと思い、よく洗い乾燥させながら再利用するために買いました。最近の丸いボトルは角が腰に当たって安定しないし、環境対応でしょうが薄くつくられており、歩いている時やカバンに入れた時にへこんでしまいます。安くて古いタイプのボトルが硬く四角いので腰に引っ掛けても体にフィットしてよし、カバンに入れてもかさばらずよしです。

3. 小さくたためてフックで腰に引っ掛けられるエコバッグ

エコバッグです。こちらも手ぶらで歩けるので気に入りました。※追記：重いものでも楽な持ち手が長い肩に掛けられる方に買い替えました。これは親が気に入って自分より親が使っています。

4. ペン立てにもなる筆箱

筆箱が必要になり探しているときに見つけたのですが、必要最小限の文具とふせんが入り、余計な文具をもたなくなり、カバンなどで持ち運んだ後取り出せばそのままペン立てになるので部屋が散らからなくなりました。

| | | |
|----------|-------|-------|
| 氏名：石鍋 壽一 | 町名：小菅 | 調査区：3 |
|----------|-------|-------|

干潟

2019年 1月 20日



セイタカシギと干潟。荒川河川敷。2019年1月2日

オオタカ

2017年の12月頃に真っ茶色のタカの仲間らしきものが見えたのですが同定できなかったの
で、報告書に記載しませんでした。その後、区の自然調査に来ていたプロの方にオオタカ
の幼鳥ではないかとアドバイスをいただきました。2018年の12月1日オオタカの成鳥の写
真を撮ったのですが、いたのは同じ場所でした。また、12月20日に目視でオオタカを確認
しました。荒川が縄張りの一部になっているようです。去年も合わせ3回とも水門等の人
工物にとまっていた。見晴らしの良いとまれる木があったら良いなあと思います。来
年も見れることを楽しみにしています。

ツグミ

今冬、ツグミを1度も見ていません。去年は1カ所に5～6匹いることもあったのに今冬
は1月19日現在、未だ1匹も見えていません。

※追記：2019年1月20日、1羽確認しましたが例年より少ないです。

| | | |
|----------|-------|-------|
| 氏名：石鍋 壽一 | 町名：小菅 | 調査区：3 |
|----------|-------|-------|

2019年2月16日

ふたたび子供用の環境の本を見ってみました。ビックリ。

区の図書館の子供向けの環境の本をふたたび見ってみました。

「お得かつ環境に良いと思って買ったプラスチック」という題名で自分はペットボトルごみが行き場がなくなって積み上がっているの、水のペットボトルを洗って再利用していることを書きましたが、家族はそんなもの汚いので捨てると言うし、貧乏くさいと思われるかなと思っていました。

しかし、前回、図書館で子供用の環境の本を見たら結構ためになったので、また探していたらペットボトルについて書いてあったので見たら以下のようなことが書いてありました。

その本*1によるとペットボトルは日本では最初1977年から1995年頃まで埋め立て処理がおいつかなくなるので飲料業界で一部の容器にしか認めない取り決めがしてあったそうです。本発行当方で10年前の3倍のペットボトルが作られているそうです。

そして驚いたのが、「ペットボトルはリユースできないの?」というところで、日本以外はすでにしている!と書いてあり、飲料メーカーはペットボトルのリユースは日本では消費者に受け入れられないと考えている事、しかし環境意識の高い国々には古くからペットボトルをリユースの対象としている事、オランダでは1980年、ドイツでは1988年からリユースが始まっていて、消費者は細かいキズがボトルについていても気にしないと書かれていました。

世界では意識の高い人々がいてすでに取組みが行われており自分の「貧乏くさいかな?」と考えていたことは恥ずかしいことだと思い改めました。

最初、この本は別の区の図書館のティーンズコーナーで見つけたのですが、葛飾区の図書館で確認すると区内の各図書館に1冊ずつくらいある程、子供に読んでほしい良書のように最寄りの図書館にも1冊ありました。図書館の方も良い本を見つけてくれていて子供の未来について真剣に向き合っているんだと感心しました。

この本、けっこうためになる事が書かれているので、また別の機会に他の部分についても書こうと思います。

参考文献

*1

タイトル 「ポプラディア情報館 ごみとリサイクル」

発行所 株式会社 ポプラ社 監修 安井 至

2006年3月 第1刷 発行

2014年7月 第8刷 発行

氏名：藤並 剛 町名：亀有 調査区：3

12月2日(日)午後2時から4時まで、天気は曇り(風なし)、気温10度くらい。都立水元公園の水辺のいきもの館周辺。かつしか足立持続発展教育協会(ESD-KA)主催の自然観察会が開催された。講師は佐々木洋先生(プロ・ナチュラリスト)である。野鳥は、アオサギ、ヒヨドリ、カルガモ、ヒドリガモ、カワウ、オオバン、ユリカモメ、コゲラ、シジュウカラ、ハクセキレイを見つけた。昆虫は、ヒバラヒワカメムシ、チャバネアオカメムシ、クリシギゾウムシを見つけた。ジョロウグモも見つけた。植物は、ニシキギ(赤色)、クヌギ(どんぐり)、サザンカなどを見つけた。今回、佐々木先生は、生物多様性に重点をおいた観察会、五感を大切にする観察会にしてくれた。すなわち、本物・原体験になる観察を強調して話をされた。(詳しくは「メジロの会通信」を検索)

12月4日(火)午後3時頃、天気は晴れ(風なし)、気温20度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、ヒヨドリ、カルガモ(5)を見つけた。昆虫は、カネタタキを見つけた。植物は、ヨシ、オギ、セイタカアワダチソウ、アキノエノコログサ、ムラサキツメクサを見つけた。暖かい日が続いて、春の野草(ホトケノザ、ナズナ、ハコベ)も咲き始めた。暖冬の影響もあり、イチヨウの落ち葉は少ない。サザンカの花が咲き、ミカンの実がなっている。

12月29日(土)午後1時頃、天気は晴れ(風少し有)、気温は8度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ユリカモメ(7)、カワウ(12)、ハクセキレイ(2)、ヒヨドリ、スズメ、キジバト(1)を見つけた。シジュウカラ(5)はスズメと混じってエサをついばんでいた。メジロ(2)はビワの花の蜜を求めているようだった。カルガモ(5)は、この近辺(中川)に留まっているようだ。植物は、オオイヌノフグリ(初)、ホトケノザ、ナズナ、セイヨウタンポポ(2)の花が咲いている。ミカン、ハンノキ、カナメモチ(赤)の実がなっていた。ツバキ、サザンカの花を見つけた。

今日、29日、東京は最高気温9度、最低気温1度となった。北海道・東北地方から本州の日本海側は寒波で大雪が降っている。大きな災害にならないでほしいと祈ることしかできない。12月は、自然観察会参加以外では、子ども食堂連続講座の3回目「けが・アレルギー・感染症～子どもの居場所の危機管理」を受講した。講師は Eme-lma 代表・看護師佐藤純さんで、日本 DMAT 隊員、在宅ケア防災研究会代表でもある災害看護のエキスパートだ。危機管理の初歩から学ぶことができた。

平成30年12月も、あと2日。来年、平成31年4月31日で、平成が終わる。ESD(持続可能な開発のための教育)が躍進され、新しい年が子どもたちにとって楽しめる世界・日本に変わることを願う。(12月29日)

1月1日(火、祝)午後1時頃、天気は快晴(風なし)、気温9度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、ヒヨドリ、スズメ、キジバト(1)、オナガ(4)を見つけた。植物は、オッタチカタバミ、サザンカの花を見つけた。

1月29日(火)午後1時頃、天気は晴れ(風少し有)、気温8度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、ヒヨドリ、シジュウカラ(1)を見つけた。植物は、サザンカ、スイセンの花が咲いていた。ヒメツルソバ、オッタチカタバミ、ホトケノザ、ハコベ、ノゲシの花も咲いた。1月31日、夕方から降った雨が、夜中には雪となった。寒さが身体にしみる夜だった。(2月2日)

2月11日(月、祝)午後3時頃、天気は曇り(風なし)、気温は5度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ヒヨドリ、シジュウカラ(3)、カワウ(2)、ハクセキレイ(3)、カルガモ(2)を見つけた。植物は、ヒメツルソバ、ナズナ、ホトケノザを見つけた。ツバキの花が見ごろで、サザンカの花は終わりに近づいている。

2月24日(日)午後3時頃、天気は晴れ(風少し有)、気温は11度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、メジロ(2)を発見した。オッタチカタバミ、イモカタバミ、ホトケノザ、ノゲシ、ハコベを見つけた。

2月は再会の季節だった。教え子に8年ぶりに会って、成長を感じたり、悩んでいることが自分の学生時代と一緒にだったり……。2月16日(土)、江東区立八名川小学校に「やながわまつり」という総合的な時間の発表会を見に行った。昨年同様、高学年のプレゼンの高さに感動した。低学年があこがれる高学年の姿は、外部の方が見学しただけでも理解できると思う。この学校は、ユネスコスクールであり、SDGs・ESD推進校でもある。

2月10日(日)、こども食堂ネットワーク、豊島子どもWAKUWAKUネットワーク主催のこども食堂サミットへ行って来た。全国の子ども食堂関係者が豊島区役所に集い、実践者が事例発表をし、研究者が論点整理を行った。SDGsは、研究者からも、実践者からも提起された。まだまだ子ども食堂の増加が見込まれ、地域の拠点としての役割を担っていくと思う。私も、早く子ども食堂を立ち上げたいと思っている。京都や東京の事例を参考に、お寺を居場所にし、全世代型の地域食堂としての子ども食堂を想定している。そこには、高齢者の知恵や遊びの伝承があり、学生による無料学習会もあり、地域のみんなで子育てを行う子どもの居場所である。環境教育もESD(持続可能な開発のための教育)として、その居場所と関連してできると確信している。ESDは2016年から2030年まで、SDGs(持続可能な開発目標)として展開している。

1月の安倍首相の施政方針演説でも、SDGsが語られた。また、広報かつしか（2月25日号）にも、1面トップで記載されていた。葛飾区区議会でも、一般質問があったと聞いている。

2011年6月、東日本大震災の被災地・宮城県南三陸町で災害ボランティアをしてきた。当時、ESD-Jの全国ミーティングを仙台の宮城教育大学のキャンパスで行なわれ、被災者の声を聞き、南三陸町を見てきた。今も地元の小学校の先生と連絡をとりあっているが、SDGsの視点からしか災害問題を解決する道はないと思う。

世界的規模の課題を考え、次世代のために地域で実践を頑張っていきたいと思う。（3月2日）

| | | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|----|-----|-----|---|
| 氏名 | K・N | 町名 | 東金町 | 調査区 | 5 |
| (水元公園正面入口～養魚場入口間の指定種の植物と昆虫) | | | | | |
| 鳥類は大橋周囲～小合溜 | | | | | |
| 種類 | 8月～11月の4か月の数値(タンポポや野鳥は数値表示) | | | | |

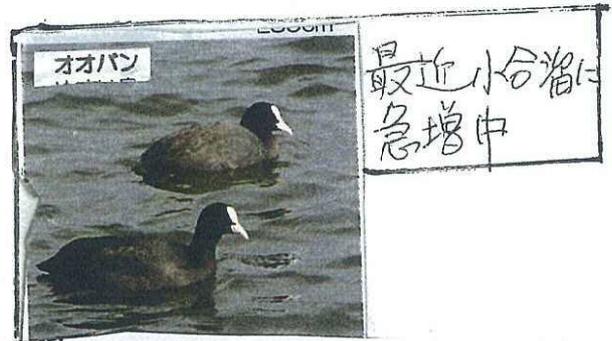
| 種類 | 12月 | 1 | 2 | 種類 | 12月 | 1 | 2 |
|--------|-----|----|-----|-------|-----|---|---|
| 西洋タンポポ | 1 | 0 | 2 | シロツメ | 0 | 0 | 0 |
| つゆ草 | 0 | 0 | 0 | 関東ヨメナ | 0 | 0 | 0 |
| シジミ蝶 | 0 | 0 | 0 | アゲハ蝶 | 0 | 0 | 0 |
| クロアゲハ蝶 | 0 | 0 | 0 | モンシロ蝶 | 0 | 0 | 0 |
| カモ類 | 100 | 60 | 150 | アオサギ | 1 | 1 | 2 |
| ユリカモメ | 30 | 40 | 35 | 中サギ | 0 | 1 | 0 |
| ダイサギ | 1 | 0 | 1 | コサギ | 1 | 2 | 1 |

野鳥の情報

- 中央図書館で分厚い葛飾区の報告書に野鳥の古い記録があった。その中でドバトの話が印象にのこった。『昭和55年2月の調査で当日12羽中7羽に脚部に異常が見られた。足指の少ないものや、足指のないものなど損傷がみられた。中略 →釣糸の被害が報告されていた。数年前に私もみたことがあったが、最近は釣り人の側にエサをねだる「コサギやアオサギ」などいるがみな元気にみえる。撮影の写真は少々古いが、珍しい一枚



多分ドバト(?)だと
思ふ。水元公園内。



↓種類不明の野鳥がカラス集団に追われていた。



釣り糸が足に?

±



カラスが口にくわえていたのは、ゴルフボール(大橋のたもと)



植物の情報

水元公園の近くには畑が幾つかある最初なんだろうと思った。白菜にカバーがかかっているのかとも思った。面白いので写真をとってみた。

暖冬といわれていたから今年は雪が降らないのかと思ったが、やっぱり降った。

雪の白は花の色を鮮やかにする。

観察地と無関係だが、東京ドームで食虫植物の展示があり、花が虫を食べる？身近では見られないので、写真を撮りにいった。幾種類もあったが、形はよく似ている。



西洋 タンポポの雑談 (NO2)

今号は観察地の西洋タンポポの数・10年間の推移を表にしてみました。

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---------------|-------|----|-----|------|-----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 平成17年 | 測定開始→ | | | | | | | 0 | 1 | 46 | 29 | 2 |
| 平成18年 | 1 | 1 | 12 | 2814 | 149 | 28 | 57 | 1 | 1 | 34 | 11 | 8 |
| 平成19年 ~26年 | 2 | 2 | 290 | 823 | 68 | 27 | 35 | 4 | 17 | 40 | 21 | 15 |
| 平成29年 | 0 | 1 | 6 | 500 | 38 | 2 | 8 | 2 | 13 | 13 | 2 | 1 |

数字から見えるもの

ピンク→タンポポは春の花なので4月は最高値

グレー→は真夏になると花が減少し、10月と11月に二回目のピークがあった

青緑→は冬になると花はなくなると思っていたが、平成19年以降は花数を数えるようになった。これは気候化の影響?

黄色→ 観察地の土手に工事の影響があり、終了直後よりは雑草も増えてきたが全体に花数は少ない。雑草の種類も減っている。

在来種の関東タンポポは、昭和時代に数値が減少。調査が全国規模で実施されている。だが回復せず今は希少種になっている。外来種の西洋タンポポは種としては生命力が強い。その花数が減少というのは見過ごせないね。つづく

自然観察レポート 12・1・2月の巻 冬から初春へのお誘い、 調査区5 佐々木定治

暮れていく平成30年



12月25日 水元3丁目



アキノゲシ



セリ

サザンカ

平成最後の新春水元



1月5日

水元公園 カモメ



カイツブリ



スイセン

春の自然競演の水元界限

2月1日 水元3丁目 ウメ

フキノトウ

水に落ちたカエデ



ウメの香漂う水元の里



2月5日

水元3丁目 コウバイ



ハクバイ



スノードロップ



タンポポ

春の雪



2月9日 水元自宅庭のセージの雪

平成30年の年が忙しく明け、平成31年の新春を迎えました。平成最後の春です。

春は、もの皆躍動する季節です。新春はその季節への移行を予告する、言わば「春満載への季節準備」というような季節です。

思いのほかの寒さに震えることもありましたが、まるで本物の春を感じさせる程の温かさの日もありました。冬の「サザンカ」から「ウメ」「フキノトウ」「タンポポ」とその春をしっかりと受け止め、自然の営みが確実に季節の中に息づいています。

2月9日には雪になりました。写真記録を見ると早咲きした「ユキヤナギ」のように見えますが、自宅の庭にある「セージ」の上に降った本物の雪です。

日本の四季は、暮らしの中に文化として位置づき由緒ある行事が、脈々と生きています。四季の自然の変化をこれからも「自然観察レポーター」として、自分流にレポートしていこうと考えています。

季節の写真集 (12月~2月)



「べんじょこおろぎ@マンション」

12月 場所：新小岩
名前：鷲田 秀和さん



「猫は店頭で丸くなる」

12月 場所：新小岩
名前：鷲田 秀和さん



「冬鶇」

2月 場所：新小岩
名前：鷲田 秀和さん



「すすめさん」

12月 場所：東立石
名前：高橋 雅子さん



「オオタカ」
12/1 場所：荒川河川敷
名前：石鍋 壽一さん



「セイタカシギ」
1/2 場所：荒川河川敷
名前：石鍋 壽一さん



「オオキバナカタバミ」
2/2 場所：荒川河川敷
名前：石鍋 壽一さん



「街路樹」
12/31 場所：お花茶屋
名前：Rさん



「梅」
1/30 場所：白鳥
名前：Rさん



「野良イモ」
12/8 場所：お花茶屋
名前：RYUさん



「コサギ」
1/30 場所：白鳥
名前：RYUさん



「フキノトウ」
2/21 場所：お花茶屋
名前：RYUさん



「シラサギ」
12/23 場所：曳舟川親水公園
名前：江良 ヒデ子さん



「トリの水遊び」
12/23 場所：曳舟川親水公園
名前：江良 ヒデ子さん



「ツユクサ」
12/23 場所：水戸街道
名前：江良 ヒデ子さん

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-257

| 調査回数 調査日 地点 | | 259 | | | 備 考 |
|-------------------|-----------|--------------|-------------|-------------|------|
| | | 2018/12/22 | | | |
| | | 本流 | 新八水路 | 新八ワンド | |
| 1 | カ ダ ヤ シ | | 37 17-37 | 95 12-33 | 特定外来 |
| 2 | ギ ン ブ ナ | | 2 30-65 | | |
| 3 | タイリクバラタナゴ | | 5 13-49 | | |
| 4 | ニ ゴ イ | 1 70 | | | |
| 5 | ヌ マ チ チ ブ | 1 29 | | | |
| 6 | ハ ス | 1 71 | | | |
| 7 | マ ハ ゼ | 2 120-133 | | | |
| 8 | メ ダ カ | | 25 16-35 | 20 13-29 | |
| 計 | | 4種類5個体 | 4種類69個体 | 2種類115個体 | |

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて8種類189個体の魚類が採集されました。曇りのち雨、気温11.4℃、水温 本流8.5℃、新八水路9.0℃、新八ワンド8.8℃（15時頃測定）

【参加者コメント】

- ・ 寒い季節で水位も高く、頼みのヌマチチブさえも僅かで採集には苦労した。量は少ないながら雨が降りグッズが濡れたが、年末なので干したり投網を修理する日程が取れそうもない。
冬は魚も少ないが人も少ない。そのなかで大学1年と4年の女子2名が頑張った。気持ちだけ見習いたい。
海に降りずに江戸川に居残ったマハゼが痩せていて、模様が似たカマツカと一瞬見間違えた。冬は魚にも厳しい季節。ワンドの周りのヤナギ類などを伐採した。本流への連絡通路を確保するためには更に伐採が必要だが、除去にも時間が掛かるためなかなか進まない。(YK)
- ・ 水深がかなりあり、水に浸っていた陸上植物が、何かに食いちぎられていたのですが、遠くにいたオオバンか、ソウギョか。気になるところです。
やっとアレチウリの姿が消えました。毎年のことながら霜が降りる頃まで発芽してくるしぶときには参ります。(KI)
- ・ 今年最後にマハゼが取れて良かったです。来年からは体調に気をつけてできるだけ参加したいと思います。(MO)
- ・ 枯れ葉が魚に見える、そんな今年最後の調査でした。来年は根気強さを大切に調査と仕事に取り組んでいきたいです。(E大AO)
- ・ 水位が高くて本流での調査に苦労する時は、ワンドで魚がとりやすい。両方いい時はないのか？(SI)

【今後の調査日】 2019年：1月26日（土） 2月10日（日） 3月23日（土） 4月21日（日）

HP（ <http://shigenori1.jimdo.com/> ） 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-258

| 調査回数 調査日 地点 | 260 | | | 備 考 | |
|-------------------|-------------|--------------|-------------|------------|------|
| | 2019/1/26 | | | | |
| | 本流 | 新八水路 | 新八ワンド | | |
| 1 | ア シ シ ロ ハ ゼ | 1 32 | | | |
| 2 | オ イ カ ワ | 23 37-109 | | | |
| 3 | カ ダ ヤ シ | | 20 16-37 | | 特定外来 |
| 4 | ギ ン ブ ナ | | 1 52 | | |
| 5 | タイリクバラタナゴ | | 9 14-52 | | |
| 6 | ヌ マ チ チ ブ | 2 57-62 | | | |
| 7 | ハ ス | 8 62-108 | | | |
| 8 | メ ダ カ | | 63 11-32 | 2 17-20 | |
| 9 | モ ツ ゴ | 1 55 | | | |
| 計 | | 5種類35個体 | 4種類93個体 | 1種類2個体 | |

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて9種類130個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ時々曇り、気温7.5℃、水温 本流6.2℃、新八水路8.1℃、新八ワンド8.3℃（15時頃測定）

【参加者コメント】

- ・ 極寒の季節に参加者が減るのは毎年のことだが、計測時の寒さは格別だった。しかし胸まで川に入って複数の魚を捕らえた方々には深く敬意を表する。春までは必要ないが、本流で大型魚を捕まえた際に現場で計測・記録し放流できるように、半分のメンバーでも何かスケールを身に付けて戴けないだろうか？ 現在4名実施中。(YK)
- ・ 本流は、強風の中での調査になったので、風や波の影響が少なそうなポイントを狙って網を打ちました。今年は、本流の底に溜まって、網にくっついて始末に負えない有機物？が、多少すくない気がします。水が動いているのか？ (KI)
- ・ 新八水路が干上がり寸前だったので、小魚を助けるために水面を広げようと泥上げ作業を実施。雨不足が引き金だが、土砂の堆積で水路が埋まってきたのが原因だ。なんとかしないと！ (SI)

【今後の調査日】 2月10日（日） 3月23日（土） 4月21日（日）

HP（ <http://shigenori1.jimdo.com/> ） 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-259

| 調査回数 調査日 地点 | 261 | | | 備 考 |
|-------------------|-------------|-------------|------------|-----|
| | 2019/2/10 | | | |
| | 本流 | 新八水路 | 新八ワンド | |
| 1 ア シ シ ロ ハ ゼ | 1 45 | | | |
| 2 オ イ カ ワ | 9 37-71 | | | |
| 3 ク ロ ダ ハ ゼ | 1 30 | | | |
| 4 サ ケ | 2 48-50 | | | |
| 5 タイリクバラタナゴ | | 1 15 | | |
| 6 ニ ゴ イ | 8 65-131 | | | |
| 7 ヌ マ チ チ ブ | 4 51-67 | | | |
| 8 マ ル タ | 1 141 | | | |
| 9 メ ダ カ | 1 21 | 53 16-30 | 7 18-24 | |
| 計 | 8種類27個体 | 2種類54個体 | 1種類7個体 | |

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて9種類88個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ、気温6.8℃、水温 本流6.6℃、新八水路7.8℃、新八ワンド8.3℃（15時頃測定）

【参加者コメント】

- ・ 前日に降った雪が夕方まで消えない極寒に、北風も終日吹きわたる厳しい採集環境となった。しかし、本流で採れた魚は8種類と多かった。これまでの2月の最大数かもしれない。
新八水路では10mm代のタイリクバラタナゴが採れたしメダカも痩せていた。雨が殆ど降らず水位の変動が少ないために最奥部に水が溜孤立する状態が長かったから、小さな水域では餌不足状態なのだろう。(YK)
- ・ 下流の航路跡で、去年生まれのサイズ（50mm程度）のアメリカナマズの死体を拾いました。繁殖されると、網に絡まるわ手に刺さるわ、外来種のなかでも大変やっかいです。(KI)
- ・ 新八水路は薄い氷が張っていた。冬には珍しく水位が低かった。風が強く気温以上に寒く厳しい条件での調査だった。(SI)

【今後の調査日】 3月23日（土） 4月21日（日）

HP（ <http://shigenori1.jimdo.com/> ） 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

環境課からのお知らせ

自然環境係 電話5654-8237(直通)

☆環境・緑化フェア2019が開催されます☆

日付 6月9日(日)

時間 午前10時から午後4時まで

場所 テクノプラザかつしか

アクセス 電車でお越しの方 →「青砥」駅 徒歩 12分

バスでお越しの方 →亀有駅～新小岩駅「テクノプラザかつしか」下車



自然環境レポーターブースでは以前に有志に作成していただいたパネル展示とレポーターブースにパソコンを設営し、写真やレポートをスライドショーにして展示する俄博士発表会を行います。

別紙で当日のボランティア募集チラシを送付しますので、参加できる方はぜひお願いします！

他にも、環境緑化フェアでは企業による出展はもちろんのこと、「苗木の配布」や「まだまだ使えるもの展示抽選会」、自然素材でつくる工作教室など楽しいイベントが盛りだくさん！おいしいパンや焼き菓子などおいしい食べ物もたくさんあるので、ぜひご家族やお友達を誘ってお越しください。

「水辺のふるさとかつしか」第308号
(葛飾区 自然環境レポーター通信第260号)

平成31年3月25日 発行

葛飾区環境部環境課自然環境係

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

TEL(3695)1111 内線3522~3

直通電話 (5654)8237

fax (5698)1538



「水辺のふるさとかつしか」の内容について、お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。